	公表: 令和6年3月29日			事業所名 美浜町立わかば園		<u></u>
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点 など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	20%	80%	<ul><li>・定員15名に対し、クラス定員が定まっていないので親子クラスでは人数の増加に伴い狭差を感じる。</li><li>・器具をしまうスペースがない。</li></ul>	・活動内容に応じて、限られた部屋数の中で 遊具の出し入れ、置き場等毎回工夫してい る。
	2	職員の配置数は適切であるか	80%	20%	・定員増に伴い職員増え、余裕のある人数にしている。	・人数的には問題ないが丁寧なかかわりが必要な利用者が多いため、状況に合わせて、職員の配置を柔軟に行っていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	40%	60%	・掲示物を少なくしたり、活動を絵カードを使用し視覚化している。 ・保育所に隣接している親子クラスは、絵本コーナーや気になる物が多くあるため、パーテーションを設置して視覚的に少なくしたり整理したりしている。 ・バリアフリー化されていないところがある。現在パリアフリー対応が必要な児童はいない。	・築年数が経っておりバリアフリー化は難しいが、様々な障がいの特性を持った児童が増える中、生活に支障をきだす部分か検討を行い対応していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ご せる環境になっているか。また、子 ども達の活動に合わせた空間となっ ているか	60%	40%	・建物自体の老朽化、使い勝手の悪さは残る。照明や消臭剤など配慮している。 ・親子クラスは園舎が古く、山が近く害虫も多い。 ・日々清掃・消毒を行い清潔に過ごせるよう配慮している。	・日々の掃除や消毒を行い、清潔な状態になるよう心がけていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	<ul><li>日々職員同士の振り返りの時間を持ったり、ノートを介して情報を共有している。</li></ul>	・日々の振り返りや言語聴覚士や作業療法 士、臨床心理士などの専門家からの助言を参 考にしながら進めている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者 等に対して事業所の評価を実施する とともに、保護者等の意向等を把握 し、業務改善につなげているか	100%	0%	・平成30年度より実施。	・保護者からの意見要望に対して、その都度、職員間で話し合い、結果を丁寧に伝えていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	90%	10%	・平成30年度より実施。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価 結果を業務改善につなげているか	20%	80%		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	・外部研修への参加の機会を設けている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子ども と保護者のニーズや課題を客観的に 分析した上で、児童発達支援計画を 作成しているか	100%	0%	・保護者と情報を共有し、思いを聞きながら、支援計画に反映できるように心がけています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握する ために、標準化されたアセスメント ツールを使用しているか	100%	0%	・チェックシートを作成し、定期的にチェックを行っている	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の 提供すべき支援」の「発達支援(本 人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容 から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な 支援内容が設定されているか	100%	0%		

公表:令和6年3月29日 事業所名 美浜町立わかば園 課題や改善すべき点を踏まえた 工夫している点、課題や改善すべき点 いいえ チェック項目 はい 改善内容又は改善目標 など 児童発達支援計画に沿った支援が行 13 100% 0% われているか 活動プログラムの立案をチームで 各クラス物必要に応じて全員で相談し計画 0% している。 14 100% 行っているか 活動プログラムが固定化しないよう ・見立てや振り返りをして、次の活動につな 15 100% 0% げるようにしている。 工夫しているか 子どもの状況に応じて、個別活動と 16 集団活動を適宜組み合わせて児童発 100% 0% 達支援計画を作成しているか 支援開始前には職員間で必ず打合せ 17 をし、その日行われる支援の内容や 〇% ・毎朝打ち合わせを行っている。 100% 役割分担について確認しているか 日々クラスごとで振り返りをした後、全体 支援終了後には、職員間で必ず打合 でも共有する時間を作り次の日につなげてい せをし、その日行われた支援の振り 18 100% 〇% ・ 十分に振り返りや共有する時間がない日も 返りを行い、気付いた点等を共有し あるため、空き時間を利用し、職員間で共有 ているか 日々の支援に関して記録をとること 19 を徹底し、支援の検証・改善につなげているか 100% 0% 定期的にモニタリングを行い、児童 20 発達支援計画の見直しの必要性を判 100% 〇% ・中間面談で確認している。 断しているか 障害児相談支援事業所のサービス担 当者会議にその子どもの状況に精通 21 80% 20% した最もふさわしい者が参画してい るか 母子保健や子ども・子育て支援等の 22 関係者や関係機関と連携した支援を 100% 0% 行っているか (医療的ケアが必要な子どもや重症 心身障がいのある子ども等を支援し ている場合) 0% O% 該当児の受け入れはしていない。 地域の保健、医療、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携した支 援を行っているか (医療的ケアが必要な子どもや重症 心身障がいのある子ども等を支援し ている場合) 0% O% 該当児の受け入れはしていない。 子どもの主治医や協力医療機関等と 連絡体制を整えているか ・移行前の話し合いや、移行後の事後訪問により支援内容について、情報共有と相互理解する機会を設けている。 ・事後訪問など、子供の様子や保護者からの 移行支援として、保育所や認定こど も園、幼稚園、特別支援学校(幼稚 部)等との間で、支援内容等の情報 ・今後も情報共有を行い、移行支援がスム 係 ズにできるようにする。 ・保育所や他の事業所への移行時には、支援 内容や現状を情報共有(見学を含めた)して 機 100% 25 関 や 共有と相互理解を図っているか 要望などで回数を調整。 保 護 移行支援として、小学校や特別支援 学校(小学部)との間で、支援内容 等の情報共有と相互理解を図ってい 者 26 100% 0% ع の 連 携 他の児童発達支援センターや児童発 達支援事業所、発達障害者支援セン 100% 0% 27 ター等の専門機関と連携し、助言や 研修を受けているか

公表: 令和6年3月29日 事業所名 美浜町立わかば園 課題や改善すべき点を踏まえた 工夫している点、課題や改善すべき点 チェック項目 いいえ はい 改善内容又は改善目標 など ・ 隣接の保育所の活動や行事に参加したり、 ー 隣接の保育がの活動や行事に多加りたり、 戸外あそび中、一緒に過ごす機会がある。 ・単独クラスは児の様子に合わせて交流を実 保育所や認定こども園、幼稚園等と ・単独ソノヘー・ 施している。 ・避難消火訓練や防犯訓練は、合同で参加し 28 の交流や、障がいのない子どもと活 100% 動する機会があるか (自立支援)協議会子ども部会や地 域の子ども・子育て会議等へ積極的 90% 29 10% に参加しているか ・単独クラスでは週1回の親子日で日々の子 日頃から子どもの状況を保護者と伝 ともだちの様子を伝えている。 ・グループワーク、面談等、普段の生活の中でも自由あそび中など話す時間を作るように え合い、子どもの発達の状況や課題 について共通理解を持っているか 30 100% 心掛けている。 保護者の対応力の向上を図る観点か 保護者向けのグループワークを行ってい ら、保護者に対して家族支援プログ ラム(ペアレント・トレーニング る。 ・作業療法士より保育者へ講義の時間を実 31 100% 施、職員・保護者が学ぶ場を実施した。 等) の支援を行っているか 運営規程、利用者負担等について丁 32 100% 0% 寧な説明を行っているか 児童発達支援ガイドラインの「児童 発達支援の提供すべき支援」のねら い及び支援内容と、これに基づき作 33 成された「児童発達支援計画」を示 100% 0% しながら支援内容の説明を行い、保 護者から児童発達支援計画の同意を 得ているか 職員で相談共有しながら行っている。 定期的に、保護者からの子育ての悩 ・保護者同士での悩みの共有や解決の場とし 34 み等に対する相談に適切に応じ、必 ・職員間で保護者の悩みや助言を共有し、必 100% 要な助言と支援方法を伝えている。 要な助言と支援を行っているか ている。 ・今後も同様な座談会を開催し、保護者の意向を踏まえた参加者が招けるようにしたいで 父母の会はない。 護 ・文句の云はない。
・わかばタイム月1回。
・さくらんぼタイム月1回(R5.5月~)。
・座談会年2回(パパ会、卒園児を囲む会)
・毎月行うグルーブワーク。 父母の会の活動を支援したり、保護 者 す。 ・グループワーク時やそれ以外の場で、保護 ・グループワーク時やそれ以外の場で、保護 35 者会等を開催する等により、保護者 90% 10% 同士の連携を支援しているか 者同士で自由に話す時間や雰囲気を作るよう の にします。 説 明 責 子どもや保護者からの相談や申入れ 任 について、対応の体制を整備すると ともに、子どもや保護者に周知し、 職員に話をして共有している。 ・関係機関とともに話し合いに対応した。 ・関係機関との調整が必要になることもあ ・関係機関との調整が必要になる場面もある 36 100% が、迅速に対応できるようにしていきます。 相談や申入れがあった場合に迅速か り、時間を要することもあり。 つ適切に対応しているか 定期的に会報等を発行し、活動概要 や行事予定、連絡体制等の情報を子 会報はないが、毎月のグループワーク時に 37 90% 10% 課題や予定等を知らせている。 どもや保護者に対して発信している 個人情報の取扱いに十分注意してい 100% 鍵のかかる場所に保管している。 38 0% るか 障がいのある子どもや保護者との意 思の疎通や情報伝達のための配慮を ・事あるごとにお知らせしたり、話し合った の% りしてきたが、保護者関係は思わしくなかっ ・母親だけでなく、父親への伝達も行ってい 39 100% しているか 事業所の行事に地域住民を招待する 40 等地域に開かれた事業運営を図って 0% 100% いるか 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとと ・今後も、保育所と合同で行う。親子クラス 単独クラスでの様々な場合を想定した訓練も 増やしていきたい。 ・アレルギー発作等の緊急時に備え、職員に 100% 41 0% よる訓練を実施した。 もに、発生を想定した訓練を実施し ているか

公表: 令和6年3月29日 事業所名 美浜町立わかば園

		<u>・ 日和0年3月29日</u> チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点	課題や改善すべき点を踏まえた
		フェック項目	10.71	01012	など	改善内容又は改善目標
非常時等の対応		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	・隣接した保育所と防犯訓練や避難消火訓練 を行っている。	・訓練の回数を検討し、保護者参加を増やしていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん 発作等のこどもの状況を確認してい るか	100%	0%	・入園時のフェイスシートや面談にて把握している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについ て、医師の指示書に基づく対応がさ れているか	10%	20%	該当児なし	・該当児はいないが、いた場合は対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業 所内で共有しているか	90%	10%	・事故ヒヤリハット報告書を職員間で共通理 解し、再発防止に努めている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機 会を確保する等、適切な対応をして いるか	100%	0%	・振り返りの中でお互いの言動について確認 をしている。 ・対応について研修会を行った。	・外部研修について、機会があれば参加し、 内容を職員間で共有していく。
	47	どのような場合にやむを得す身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	40%	0%	該当児なし	

<sup>★</sup>この「事業所における自己評価(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。